

KOIZUMI

コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 XD90061L

お客様へ

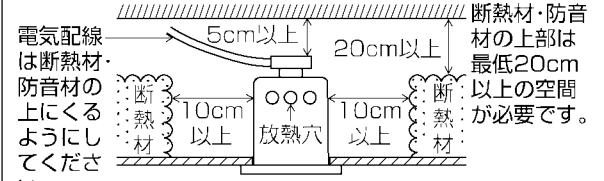
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	⊘ 禁止	ダウンライトなどの埋込タイプの器具を設置する場合は、図のように器具と断熱材・防音材との距離をとってください。 断熱材・防音材で器具本体の放熱穴などをおおわないでください。 →放熱が妨げられ器具および断熱材が過熱する原因になります。
	やわらかい天井に取付ける場合は補強材を入れてください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		
⊘ 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井埋込専用器具です。 傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。	⚡ アース工事	 器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。住宅での断熱施工天井ではご使用できません。
⚡ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	！ 厳守	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
⊘ 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	⊘ 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
🚫 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		
⊘ 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	！ 厳守	表示された電源電圧(AC100V～AC242V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
			照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話

0570-055123

受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話

0570-015123

FAX

0570-025123

受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)

愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！	
	ご使用の際このような症状はありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	ご使用中 故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。

⚠ 安全に関するご注意	●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合) ●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
-----------------------------------	---

保証とアフターサービスについて	
保証について	修理を依頼されるとき
・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。 ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。	・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
XD90061L	AC100V～AC242V	0.18A～0.08A	18.0W	LDL 40S/14W×1
		0.21A～0.09A	21.0W	LDL 40S/17W×1
		0.25A～0.10A	25.0W～24.0W	LDL 40S/21W×1
		0.31A～0.13A	31.0W～30.0W	LDL 40S/27W×1

※本器具はランプ寿命末期まで、常に定格ランプ出力の約76%の光束を維持するよう設計されています。

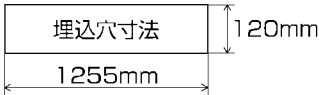
■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

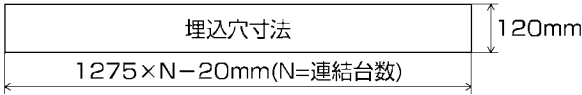
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 天井に埋込穴をあける

＜単体の場合＞



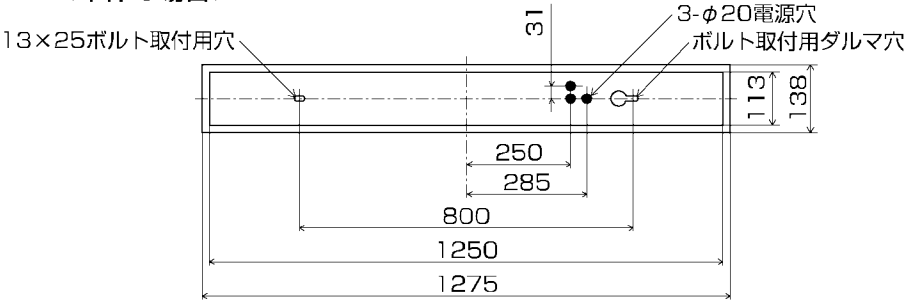
＜連結の場合＞



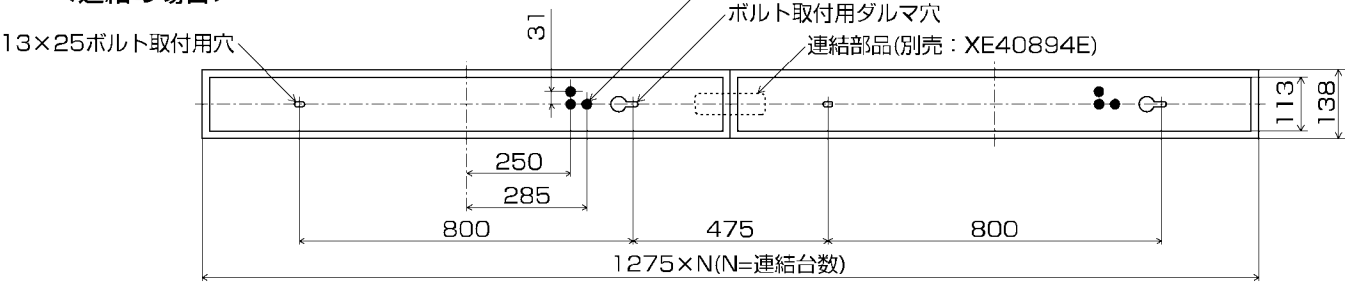
3 取付ピッチ

下図は器具を取付面から見た図です。

＜単体の場合＞

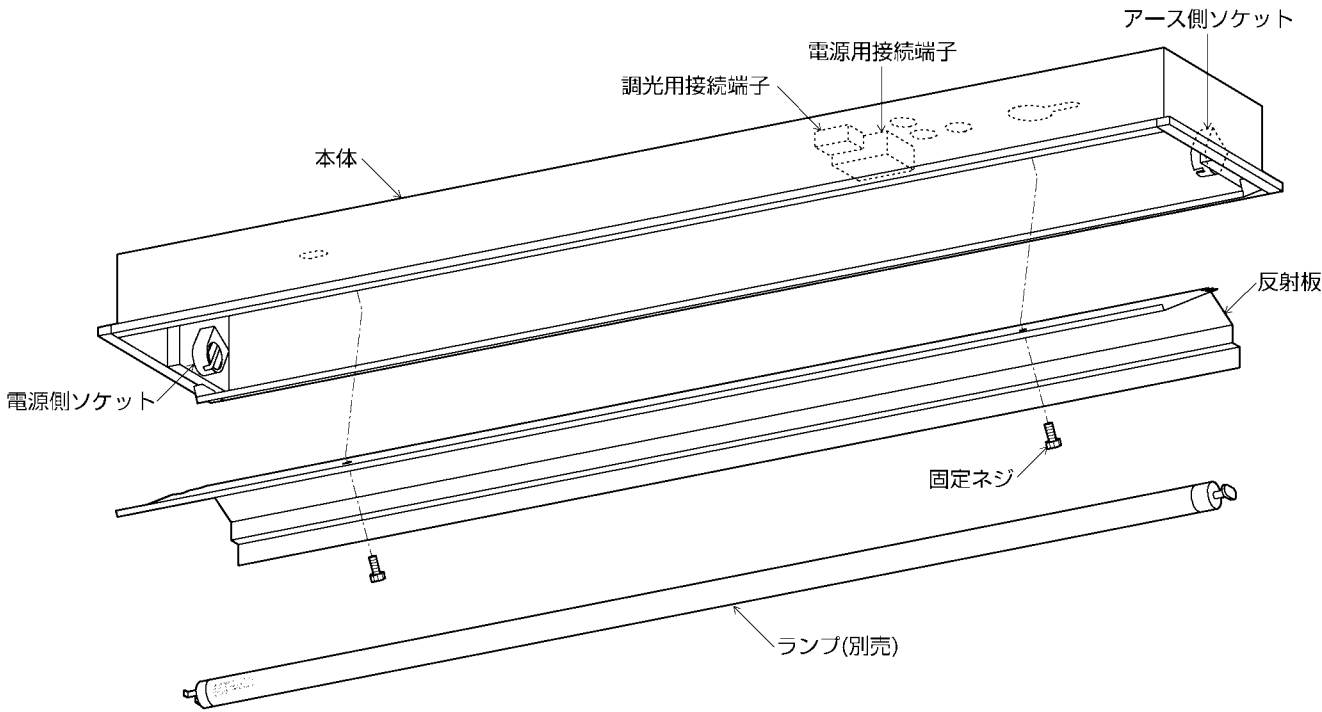


＜連結の場合＞



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けしないでください。



＜連結部品(別売)＞

XE40894E



連結部品・・・1個

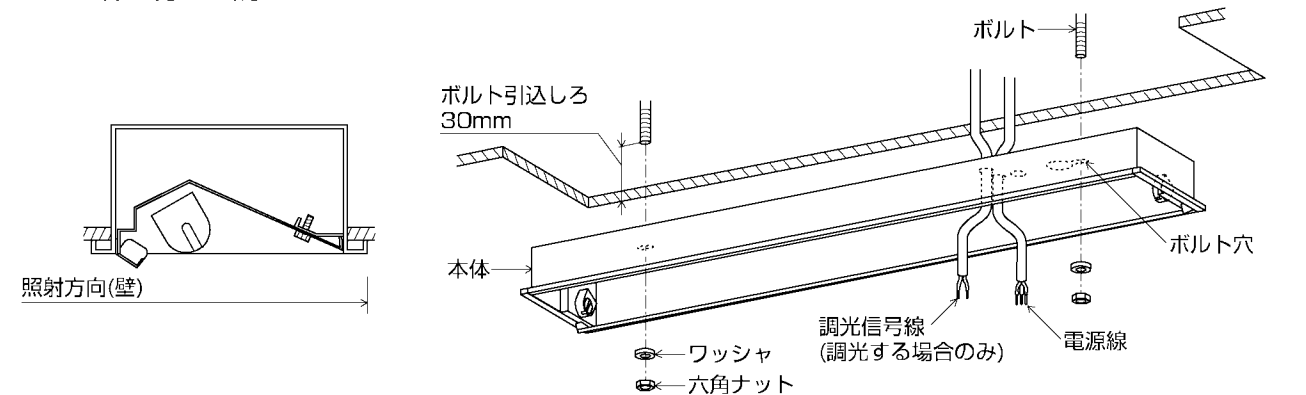


固定ネジ・・・4本
(パネワッシャ付)

1 本体を取付ける

本体に電源線、調光信号線(調光する場合のみ)を通し、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

※六角ナットの締付トルクは1.5N・m以下です。
締付トルクが適正値を超えると、器具変形・天井面とのすき間の原因になります。すき間を確認しながら締め付けを調整してください。

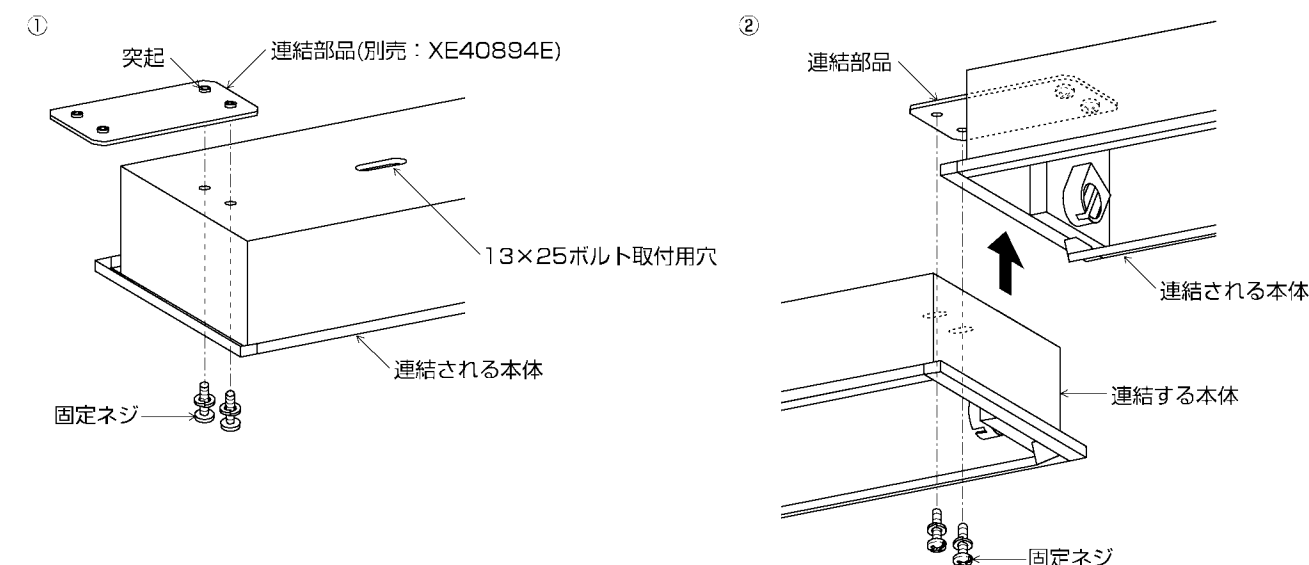


<器具を連結する場合>

① 連結される本体の13×25ボルト取付用穴側に連結部品(別売：XE40894E)を固定ネジで取付けてから、ボルトに取付ける。

△注意 連結部品(別売：XE40894E)の突起は本体側に向けないでください。器具の落下によるけがの原因になります。

② 連結する本体の長穴側を連結部品に合うように押し上げてボルトに取付けてから、連結する本体を連結部品に固定ネジで取付ける。



2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源用接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り容量15A以下)はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

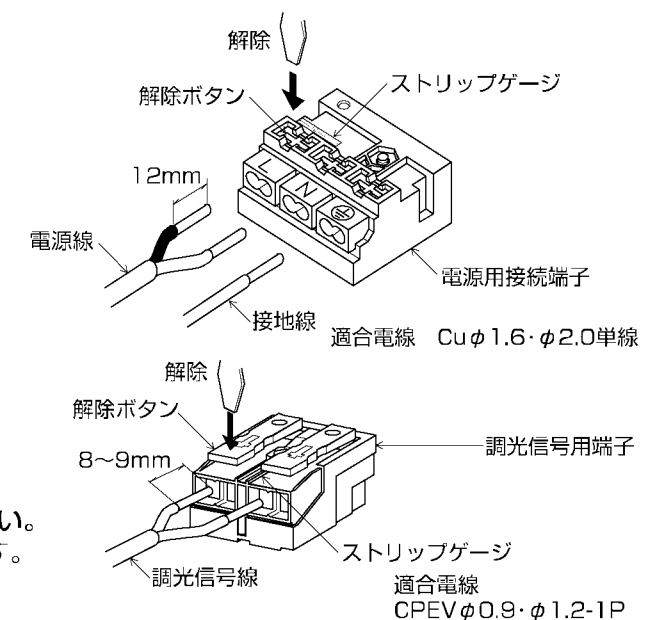
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災の原因になります。

<調光する場合>

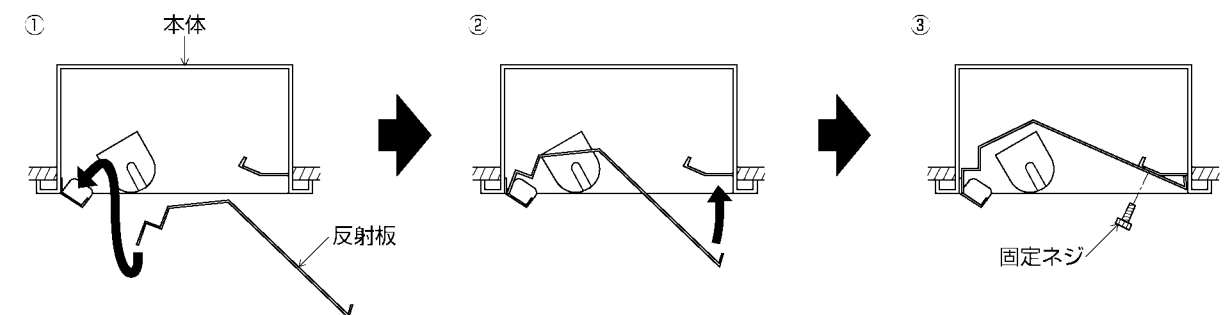
ストリップゲージに合わせて調光信号線の被覆をむき、調光信号用端子に確実に差し込む。はずす時は解除ボタンを押し、調光信号線を抜く。

△警告 調光信号線の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



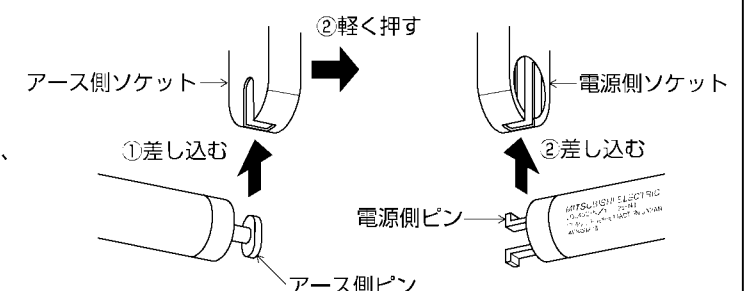
3 反射板を取付ける

- ① 反射板を本体に引っ掛ける。
- ② 反射板を本体に合わせる。
- ③ 固定ネジで取付ける。

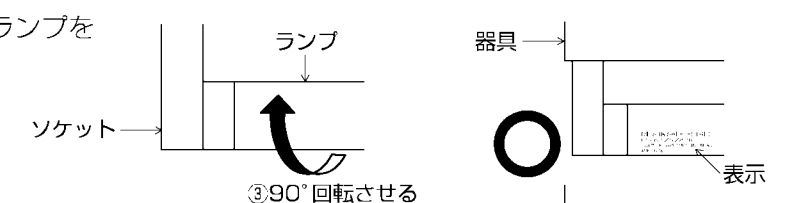


4 ランプ(別売)を取付ける

- ① ランプのアース側ピンをアース側ソケットに確実に差し込む。
- ② ランプをアース側ソケット方向に軽く押しながら、電源側ピンを電源側ソケットに確実に差し込む。



- ③ ランプの表示が照射方向に向くように、ランプを90°回転させて取付ける



※ランプを90°回転させて確実に取付いていることを確認してください。不点灯や故障の原因になります。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 点灯の確認を行なう

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラをご使用ください。チラツキ・誤動作の原因になります。
- 自動調光制御システム プロセイヴァーと組み合わせてご使用の場合、必ず壁スイッチを設置してご使用ください。消灯できなくなる場合があります。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

■ランプ使用上のご注意

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

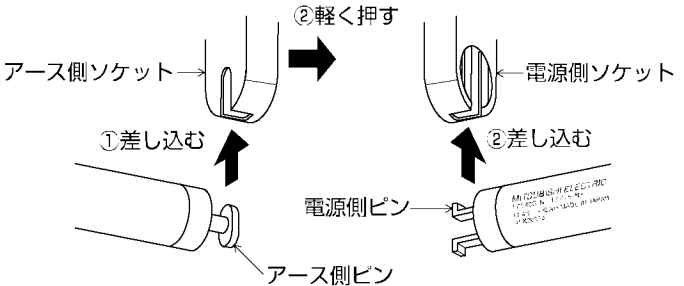
1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す

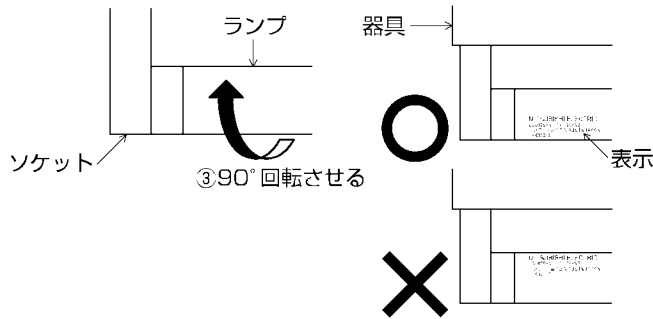
3 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。落下によるけがの原因になります。

- ① ランプのアース側ピンをアース側ソケットに確実に差し込む。
- ② ランプをアース側ソケット方向に軽く押しながら、電源側ピンを電源側ソケットに確実に差し込む。



- ③ ランプの表示が照射方向に向くように、ランプを90°回転させて取付ける



※ランプを90°回転させて確実に取付いていることを確認してください。不点灯や故障の原因になります。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

4 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■タイマーリセットについて

- 本器具は、ランプの点灯時間に応じて調光率を変化させ、一定の光束を保つよう設計されています。従ってランプ交換時は、ランプの点灯時間を記憶した器具側のタイマーをリセットさせる必要があります。

＜器具1台のみリセットする場合＞

- ①電源OFF後、ランプを取外します。
- ②ランプを取外した状態で「電源ON(1秒間)→OFF(1秒間)」を3回繰り返します。
- ③新しいランプを取付け、電源をONします。

＜同一電源回路の器具と一斉にリセットする場合＞

- ①電源OFF後、全ての器具のランプを新しいものに交換します。
- ②ランプを装着した状態で「電源ON(1秒間)→OFF(1秒間)」を6回繰り返します。
- ③3秒以内に電源をONします。

※ランプ交換は器具単位で行なってください。多灯用器具の場合、ランプ1本だけの交換では適性な照度が得られません。

※リセット操作が正しく行なわれたら、電源ONの約5秒後に調光点灯します。(器具は初期状態に戻ります。)

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。